

居武士小学校 令和6年度後期学校評価について

教職員アンケート結果より

I 成果

- ①前期の評価と比べ、1の評価項目以外は、評価に改善が見られた。全職員が協働し子どもたちを支援してきた結果だと受け止めている。
- ②運営組織・教育環境・開かれた学校づくり・教職員の育成の各項目で大幅な改善が見られた。学校全体で教育の改善を行う基盤が整備されてきていると捉えている。
- ③教育活動の中では、授業時数を十分に確保し適切に指導を行うとともに、道徳教育の充実が図られていた。

II 課題

- ①前期と同様、挨拶、安全、後始末の定着が図られていない。
- ②前期と同様、基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が十分ではない。

今後に向けて

- ◎基本的学習ルールについては、「居小スタンダード」を意識した取組を今後も推進していく。また、保護者への情報発信に努める。挨拶については、児童会活動とも連携し、取組を強化していく。

児童アンケート結果より

I 成果

- ①「自分のよい所を学習や生活に生かしている」の項目は、前期と比べ評価が上がった。自らを肯定的に捉え、積極的に物事に取り組む姿勢が培われてきた。
- ②学校の勉強は分かりやすく、みんなと協力しながら学校で活動している。
- ③仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にし、学校の決まりを守っていると考えている。

II 課題

- ①自分の考えを積極的に伝えることができていない。

今後に向けて

- ◎子どもたちが、積極的に自分の考えを持ち、発信することができるよう授業改善を行うとともに、考えを交流する中で学びを深めることができる子どもたちを育てる。

保護者アンケート結果より

I 成果

- ①全体的に、前期の評価と比べて改善したと判断していただいている。
- ②「こどもは、読み書き計算を中心に基礎的基本的な学力や表現力も身に着けている」の項目では、とても高評価だった。
- ③「学校は学校運営協議会と連携して教育活動を推進している」の項目も高評価だった。
- ④「学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している」の項目は、高評価だった。

II 課題

- ①子ども達自身は、宿題や家庭学習を行っていると考えているが、保護者としては、もっと宿題や家庭学習に取り組んでほしいと願っている。
- ②家庭では、朝食を必ず摂ることやゲームをする時間、学習時間など生活リズムについて話している」の項目が、前期より評価が下がった。
- ③家庭での読書活動の充実に向けての取組が十分ではない。

今後に向けて

- ◎家庭学習やゲームをする時間のルール作りなど、家庭と連携して充実させる。
- ◎定期的にブログをアップしてほしいとの要望があることから、今後、定期的な発信に努める。

学校運営協議会居武士小学校部会より

- ①小さな学校では、いじめが固定化される傾向にある。小さな学校独特の人間関係を十分に理解しながら、今後も、いじめのない学校づくりを推進してほしい。
- ②学校だけでなく、保護者・地域の力も借りて、子どもたちの悩みや思いをくみ取りケアできるよう支援していきたい。
- ③複式で授業を行い行事等が多い中、基礎基本の徹底を図ることは難しいだろう。寺子屋等でフォローしていることが分かっているが、行事の削減を行っていった方がよい。
- ④保護者の評価では、子どもたちは、学習や生活のきまりを守って勉強していると評価されているが、職員と児童の評価はそれぞれ低い。特に、子どもたちの聞く姿勢(態度)については、学校だけではなく、家庭や地域も含めて成長を促していかなければならない。

今後に向けて

- ◎子どもたちの負担や職員の働き方改革、教育効果を考慮しながら、行事の厳選に努めていく。
- ◎今後も、学校と家庭、地域とが協力し合いながら子どもたちの安心安全を確保し、健やかな成長を支えていく。